

令和6年度 高等学校「理科（化学）」観察・実験研修 実施要項

1 目的 理科の観察、実験を実施するうえで教員として必要な知識と技能を身に付けることで、科学的に探究するために必要な資質・能力の育成に向けた授業力の向上を図る。

2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の教員

募集人数 24名

3 日時等

| 回 | 日時 | 主題等 | 講師等 |
|---|------------------------|--|--|
| 1 | 8月6日（火） 14:00～17:00 | 化学分野の授業において探究を効果的に取り入れるために －粒子に関する誤概念の解消に向けた化学電池の実験－ －酸化還元反応についてのマイクロスケール実験－ [実習] | 大阪府教育センター 指導主事等 府立成美高等学校 指導教諭 大原 一浩 |

4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、教員研修プラットフォームを必ず確認すること。

6 担当室 高等学校教育推進室

1 目的

理科の観察、実験を実施するうえで教員として必要な知識と技能を身に付けることで、科学的に探究するために必要な資質・能力の育成に向けた授業力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第1期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修の主題とねらい等

| 回 | 主題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|--|--|--|-----------|
| 1 | 化学分野の授業において探究を効果的に取り入れるために ー粒子に関する誤概念の解消に向けた化学電池の実験ー ー酸化還元反応についてのマイクロスケール実験ー | <ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験を安全に実施するために必要な知識と技能を身に付ける。 ・深い学びの実現に向けた観察、実験の進め方について理解を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元に関する実習を通して、化学分野における観察、実験を安全かつ円滑に実施する方法と準備について学ぶ。 ・教員自身が探究することを通して、生徒の資質・能力の育成につながる効果的な実施方法について考える。 | 準備物 白衣 |